

第32号

# かたつむり21

10月現在 会員数

個人：74人

法人：1団体

2015年10月18日発行

題字：片山 雅子



## ☆ SG誕生のきっかけは…

50年前の1965年8月、肢体不自由児を持つ保護者数名の呼びかけによって、能勢で開かれた「親子キャンプ」に6名の大学生と4名の社会人がリーダーとして参加したことがSG活動の出発点です。当時、障害児・者に対する社会の理解は乏しく、

特に重度の障害児は家庭内に置き去りにされていました。

この親子キャンプを通して保護者からの切実な声を聞き、それまで行政関係団体の諸行事（軽度の子が対象）にボランティア・リーダーとして参加していた若者たちは、子どもたちや親の真の願いに応えるには何をなすべきかについて、連日議論を重ねていきました。

## ☆ こうしてSGは誕生した

そして、1965年9月11日、『大阪肢体不自由児サービスグループ(SG)』、ボランティアを名乗らないボランティア団体が誕生しました。メンバーは、大学生や社会人などわずか12人です。『サービス』とは相手の立場に立って相手を思いやることです。

障害の有無は本人の責任ではない、障害者をサポートすることは、ボランティア（当時は“社会奉仕”と訳されていた）ではなく、社会的な連帯責任であると設立趣意書に謳いました。誰もが普通に生活ができる社会を目指して一人ひとりが行動すべきであり、行政や特定団体に依存せず、多少の困難があっても自らの手で地道な活動を実践して行こうと決意しました。

SGはアマチュア集団のため、活動内容は大したこと

はできませんが、社会的な連帯責任を原点に据え、ボランティア活動の日常化を趣旨としたことは、当時としては先駆的であり、今日までの活動の柱となっています。

## ☆ それからの50年、そしてこれから

この間、多くの学生たちが関わり、次々とバトンを繋いで来ています。今では常時50名以上が参画し、50年間に関わったメンバーは実数で1,000名を越えています。彼ら・彼女らが現役を退いても、それぞれの生活の場において、必ず障害者の力強い味方になっているものと確信しています。

SG創設時と異なり、今日では全ての子どもが学校に通えるようになりました。しかし、支援学校高等部卒業後の問題は解決していません。また、障害児・者を取り巻く環境も改善され、バリアフリー化が進みましたが、街の段差はなくなっても、一般社会の“心の段差”の解消はまだまだ道遠です。こうした課題を少しでも改善できるように、私たちはこれからも“障害児とともに歩む”活動を続けなければと考えています。

## SG後援会「かたつむり21」

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-12

TOWAローゼンビル長堀403

電話・FAX：06-6264-1919

事務局 Mail：qmdtj092@ybb.ne.jp

HP：http://katatsumuri21.jimdo.com/

# 2015年SGサマーキャンプ報告

2015年8月14日(金)～16日(日)

大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加者：キャンパー9名(全員高校生)

リーダー50名(内・かたつむり8名)



## 初PDを終えて

野村 俊介

今回のサマーキャンプは、キャンパー卒業以来6年ぶりの参加でした。初めてのスタッフ、しかもPD(プログラム・ディレクター)という重責でとても緊張していましたが、キャンプ長の幸村さん、サブPDの冨野沙綾さん・北川拳士さんの2人をはじめ、スタッフやリーダーの皆さんのおかげで何とか無事に終わることができました。

一番嬉しかったことは、キャンパーたちの笑顔です。初めてのことでただで思うようにできないこともありましたが、キャンパーが楽しそうにしているのを見て、やって良かったなと思いました。また、SG50周年という節目の年に初の“車椅子PD”という新たな歴史を刻むことができ大変光栄に思います。どのような形になるか分かりませんが、お声掛け頂ければこれからもスタッフとして参加したいです。今年がSGにとって素晴らしい一年でありますように…。

## 参加させて良かった 小野 綾音(キャンパー)



お友だちの紹介で今回初めて参加した小野綾音の母です。出発の日まで“ドキドキする…”と言っていました。帰ってきた時の顔は、“笑顔”。楽しめたんだと直ぐに分かりました。

今回のキャンプで、楽しかったことベスト3を聞いてみると、

- ①花火 — 火が怖くてなかなか持てなかったけど、面白かった。またやりたい。
- ②ナイトハイキング — 暗くて怖かったけど、「大丈夫！」と言ってもらって行くことができた。
- ③プールとクッキング — すごく楽しかった！ということでした。

発語も限られていて、ジェスチャーや筆談で伝えようとするけれど、なかなか伝わりにくく、初対面の人との関わりが苦手な綾音ですが、スタッフの方とも打ち解けて、9月の思いで会に参加した際も、自ら車いすでスタッフの所に行って、クイズなどをして大笑いしている様子を見て、参加させて良かったと思いました。また、次回も参加したいと思います。(母親からの寄稿)

## 得たことが一杯 不破 那奈美(1班かたつむり)



今回SGキャンプに初めて参加させて頂きました。障害を持つ子どもたちと3日間過ごし、その子どもたちの命を預るといことがとても不安で、障害児にどのように接すればいいのか、前日まで行くことを迷っていました。

でも、子どもたちはキャンプを楽しみに来てくれるんだ、何もできなくても、1人の子どものみだけでも精一杯楽しませてあげればいいんだと考え参加しました。キャンプが始まると大変なことが一杯ありましたが、周りのスタッフさんたちのおかげで、3日間を乗り越えることができました。何よりも、子どもたちが笑って楽しんでいる姿が嬉しかったです。

しんどかったけど、それ以上に多くのものを得ました。こんな時はどうしたらいいのかな?など自分なりに考えることができ、助け合い・協力の大切さも学びました。

来年のキャンプでは、もっと周りを見て行動したいと思います。また、この短期間でどれだけキャンパーの心理を理解するかがこれからの課題だと思いました。

(大阪保健福祉専門学校・看護学科1年)

## 会 員 短 信

※ 行事等の返信はがきで寄せられ会員の動静やメッセージの一部を抜粋しました。(順不同・敬称略)

**西川 定男・千恵子** (大阪市)

新しいマンションに移ってはや1年。やっと落ち着きましたが、80歳以上になって、よくまあ寝込まずに来たなあと思います。便利な所に越したのですが、中々しんどくて散歩はほとんどしません。認知症にならぬよう頑張っています。

**大西 聖治** (徳島・東みよし町)

私の方は血圧が高値安定以外、大きな変化はありません。SGが50周年だなんて、本当にすごいですね。継続は力なり！SGが社会や若者に与えた影響は小さくないと思います。いつの日か皆さまと再会できることを楽しみにしています。

**石谷 洋子** (熊取町)

私の方は一見元気なのですが、腰痛になったり、肘を骨折したりと何かと年を感じるが多くなりました。

**本多 勝久** (奈良市)

週3~4日、仕事や出張でガラガラ過ごしています…実際はバタバタ貧乏継続中！Facebook理解せず、皆さまとはますますご無沙汰になっています。

**恩塚 俊男** (河内長野市)

両親の介護で日々実家に通っています。情報を頂く度に懐かしく思っています。

**元村 清志・千代(旧姓・辻)** (東京・杉並区)

次女は4月から社会人、三女も成人式を迎え、子育てもあと少しです。

**小西(旧姓・藤井) 加保留** (参与/兵庫・尼崎市)

前のSG事務所でご縁のあった大阪婦人ホームの出上さんとHIVプロジェクトを組むことになりました。

**川上(旧姓・上原) 一恵** (池田市)

何とか元気にしています。また夏がやって来ますが、皆さまも健康に留意されキャンプの準備等に頑張って下さい。

**繁岡(旧姓・安藤) 純子** (大阪市)

昨年暮れに近鉄鶴橋駅で中間君に会い懐かしく思いました。近くで仕事しているんだあと名刺交換したのに4月に転勤。さらに忙しい日々です。近鉄・永和で30歳未満の若い人たちに囲まれ仕事しています。記憶力が落ちてしまっただけで日々探し物に時間を取られています。

**河南 るり子** (鹿児島・阿久根市)

母が脳梗塞となり在宅介護も1年が過ぎました。40代前半には9時間ほど寝ていた頃が嘘のようで、今では睡眠時間が半分です。でも、86歳になってもリハビリで少しずつですが日々回復する母に励まされています。戦後70年、平和という言葉が一段と深く重い言葉として感じられる昨今です。

**森脇 久行** (和歌山・海南市)

農業に精を出しています。今年の初仕事に椎茸のホダ木に種菌を植え付けました。元気で働けるのが何よりです。

**西山 進見** (兵庫・丹波市)

漢字が一杯並んだ腰痛に負けずにポチポチ頑張っています。村は昨年夏の豪雨災害からの復旧でバタバタしております。

**加納 伸子** (泉大津市)

毎日元気でヘルパー事業所で頑張ってます。4月から介護タクシーも始めました。

**片山 雅子** (兵庫・川西市)

ご無沙汰しています。お役に立てずいつも申し訳なく思っています。私も来年60歳で定年を迎えます。

**平田 紀男** (兵庫・明石市)

シンガーソングライター・小田純平にはまり込んでいます！

**今井 悦子** (枚方市)

ご平安でお集い下さい。

**村瀬 愛** (兵庫・尼崎市)

メダカがまた産まれました。透明で小さすぎて動かなければ居るのか居ないのか判らないぐらいです。

**辻本 角義** (参与/三重・伊賀市)

昨年4月より大阪狭山市内の高齢者介護施設に勤務しています。一生現役を目指します！

**成山 治彦** (参与/吹田市)

昨年4月から立命館中学・高校の校長を務めており、本年4月からは小学校長も兼務しています。

**善野 八千子** (参与/堺市)

“教育は人づくり・町づくり、そして私は若づくり”の善野です。奈良学園大学三郷キャンパスにて教員養成に努めています。

**幸島 淳** (参与/和歌山・橋本市)

南海福祉専門学校の校長として「福祉人材養成」について本年も頑張りたいと思っております。

## 2015 能勢オータムキャンプ 開催のお知らせ

### 祝！ SG創立50周年！

障害の有無に関わりなく皆で一緒に能勢の秋を楽しむ恒例の「能勢オータムキャンプ」のご案内です。SG創立35年目の2000年11月に開催した「アニバーサリーキャンプ」からはや16回目。ちょっぴり寒いかも知れませんが、SG創立50周年を祝って、能勢の紅葉を借景にいろいろなスポーツに心地よい汗を流しましょう。もちろん、豪華な夕食（松茸、カニ等々）や、超美味なお酒（能勢の地酒・秋鹿）も用意しております。お知り合いの方もお誘い頂いて、大勢参加して下さい。

- ・と き：2015年11月21日(土) 午後1時（SG事務所前集合）～22日(日) 午後5時（解散）  
\* 集合場所から現地までは乗用車に分乗して頂きます。
- ・ところ：能勢ダイヘンキャンプ場 電話：0727-37-0080
- ・参加費：社会人／3,500円 学生／1,000円 障害者／1,000円 高校生以下／無料
- ・申し込み：別添案内状参照。返信用はがき、事務局宛のFAX・メールでご連絡下さい。

SGの  
ページ

### SG活動の報告と今後の予定

今年度、SG委員長をしております井上ことみ・大阪行岡医療大学2年です。本年4月以降のSG活動の主な内容と今後の予定を報告します。

#### 《資金活動》

##### ・4月11日(土)・12日(日)

社会福祉法人大阪水上隣保館にて開催された桜バザーの一つのブースをお借りして、かたつむり21の協力の下、「ホットドッグと飲料水」のセット販売をしました。

2日間で応援の学生を含め約30名が集まってくれました。みんなでウイナーを茹で玉ねぎを炒めたりしてたくさんホットドッグを作りました。ただ、昨年より売れ残りが出て、収益は約4万円でしたが、お金のないSGにとっては貴重な活動財源です。

#### 《S・M・C活動》

##### ・5月10日(日) 海遊館

チャレンジド15名リーダー23名が参加しました。みんなで近くの広場でお昼ご飯を食べた後、海遊館で魚やサメ、イルカなどを見てまわりました。このときは残念ながらジンバイザメは留守でした。

##### ・6月28日(日) ハーベストの丘(堺市)

チャレンジド6名リーダー11名が参加しました。泉北高速「泉ヶ丘」から路線バスを利用して現地に向かいました。ちょっと心配していましたが、始発停留所だったので全員同じバスに乗れました。「食のホール」でご飯を食べた後、やぎ、ブタに餌やり体験をして、アップダウンはありますが、甲子園球場8箇所という広大な農業公園内の小動物エリアやお花畑の散策等を楽しみました。

#### 《S・M・Cの今後の予定》

- ・10月25日(日) メルシェルブ築港店(海遊館向かい) ハロウィンキャンドルを作りに行きます。
- ・11月 現在検討中
- ・12月 毎年恒例のクリスマス会(カラオケ)をしようと考えています。

### かたつむり21役員会からのお願い

#### ・SG創立50周年記念事業について

役員会では、SG委員会と共催で来年4月または5月に、記念式典を含むシンポジウム形式の「感謝の集い(仮称)」とSG及びキャンパーOB・OG等との「交流会」を開催する予定です。ついては、下記の点に関して皆さまのご意見を返信はがき・メールにてお寄せ下さい。

- 会場(感謝の集い/交流会)について
- プログラム
- 記念講演等のゲスト候補について
- 参加を呼びかける対象者等について (黒川)



#### 編集後記

一日の温度差が激しくなっていますが、皆さま体調は崩されていませんか？ところで、9月の中秋の名月・スーパームーンをご覧になりましたか？

今年はSG50周年です。半世紀もの間、たくさんの人と人との出会いを作ってくれたグループ。その時々いろいろな出会いがあったことでしょう。これからもよき出会いを求めて進んでいきましょう。(清石和子)